



2020年11月6日

各 位

会社名 日 総 工 産 株 式 会 社
 代表者名 代表取締役会長兼社長 清水 竜一
 (コード番号：6569 東証市場第一部)
 問合せ先 上席執行役員 経営企画本部長 野村 健一
 (TEL. 045-514-4323)

2021年3月期通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会におきまして、2020年8月7日に公表いたしました2021年3月期通期連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）及び配当予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想修正について

(1) 2021年3月期通期連結業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 64,000	百万円 1,500	百万円 1,750	百万円 1,050	円 銭 31.06
今回修正予想 (B)	67,000	1,800	2,100	1,300	38.43
増 減 額 (B-A)	3,000	300	350	250	—
増 減 率 (%)	4.7	20.0	20.0	23.8	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	74,966	3,061	3,149	2,033	60.51

(2) 業績予想修正の理由

2020年8月7日に公表いたしました「2021年3月期通期連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」では、新型コロナウイルス感染拡大による影響から、第2四半期以降に徐々に経済活動が再開され、当社グループの事業環境も緩やかに回復すると仮定し、通期連結業績予想を算定いたしました。

一方、当社グループ中核事業の製造系人材サービスにつきましては、緊急事態宣言の解除に伴い、顧客メーカーにおける生産活動再開のもと、製造スタッフの稼働が増加することで、一人当たり売上高が改善するなどの回復が当初予定より早まっております。また、自動車関連においては、国内外の需要回復による生産ラインの一部停止や稼働調整が改善され、電子デバイス関連においては、5Gや働き方の変化によるIT需要が底堅く推移するなど、第3四半期以降に外部人材活用ニーズの回復の兆しが見えつつあることから、前回発表予想を上回る見込みとなりました。

以上のことから、現時点において入手可能な情報をもとに通期連結業績予想を算定し、修正いたします。

2. 配当予想修正について

(1) 配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	年 間
前回発表予想 (2020年8月7日発表)		9円32銭	9円32銭
今回修正予想		11円53銭	11円53銭
当期実績	0円00銭		
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	0円00銭	25円00銭	25円00銭

(2) 配当予想修正の理由

当社は、株主に対する利益還元と企業価値の向上を経営の重要課題と位置付けており、成長投資のための資金の確保、並びに事業環境の変化に対応できる企業体質の強化とのバランスを考慮しつつ、連結配当性向 30%を目安に、株主の皆さまへ安定した利益還元を継続することを基本方針としております。

以上のことから、2021年3月期通期連結業績予想及び事業環境を総合的に勘案し、期末配当を11円53銭といたします。

(業績予想等に関する注記事項)

業績予想等の将来に関する記述につきましては、当社グループが現時点で入手可能な情報及び合理的と判断される前提条件に基づき算出したものであります。

実際の業績等につきましては、様々な要因の変化によって予想値とは異なる場合があります。今後、業績予想等に関し開示すべき重要な事象が発生した場合には速やかに公表いたします。

以 上